

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月13日
【四半期会計期間】	第15期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社レントラックス
【英訳名】	Rentracks CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山崎 大輔
【本店の所在の場所】	東京都江戸川区西葛西五丁目2番3号
【電話番号】	03 - 3878 - 4159
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小高 忠裕
【最寄りの連絡場所】	東京都江戸川区西葛西五丁目2番3号
【電話番号】	03 - 3878 - 4159
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小高 忠裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第3四半期 連結累計期間	第15期 第3四半期 連結累計期間	第14期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	7,689,720	6,839,081	10,409,312
経常利益 (千円)	379,234	97,916	515,403
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	244,637	20,499	279,701
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	245,608	10,344	279,072
純資産額 (千円)	2,091,200	2,053,020	2,124,808
総資産額 (千円)	3,605,568	3,532,947	3,925,209
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	31.01	2.60	35.45
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	30.91	2.60	35.34
自己資本比率 (%)	58.0	58.1	54.1

回次	第14期 第3四半期 連結会計期間	第15期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	8.18	2.79

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日）におけるわが国の経済は、企業収益は好調に推移し、雇用所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復基調が見られたものの、米國政權の動向や海外情勢の不安定なリスク等、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、株式会社電通の「2018年日本の広告費」によれば、2018年の日本の総広告費は6兆5,300億円（前年比102.2%）、中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が1兆4,480億円（前年比118.6%）と堅調に成長を続けております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融、自動車買取、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりになりました。

財政状態

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,532,947千円となり、前連結会計年度末と比較して392,261千円の減少となりました。これは、現金及び預金が369,826千円、売掛金が288,257千円減少したこと、投資有価証券が136,498千円増加したこと等が主な要因であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は1,479,927千円となり、前連結会計年度末と比較して320,473千円の減少となりました。これは、買掛金が208,864千円、その他に含まれる未払法人税等が132,980千円減少したこと等が主な要因であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,053,020千円となり、前連結会計年度末と比較して71,788千円の減少となりました。これは、利益剰余金が42,621千円減少したこと、自己株式（純資産のマイナス勘定）が19,980千円増加したこと等が主な要因であります。

経営成績

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,839,081千円（前年同四半期比88.9%）、営業利益98,159千円（同25.9%）、経常利益97,916千円（同25.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,499千円（同8.4%）となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が6,400,644千円（同95.7%）、検索連動型広告代行事業が324,347千円（同34.5%）、その他の事業が114,088千円（同181.2%）となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が752,991千円（同88.1%）、検索連動型広告代行事業が35,531千円（同44.8%）、その他の事業が94,180千円（同165.3%）となっております。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,600,000
計	24,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,975,800	7,975,800	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	7,975,800	7,975,800	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2020年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	7,975,800	-	440,096	-	346,096

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,873,500	78,735	-
単元未満株式	普通株式 2,000	-	-
発行済株式総数	7,975,800	-	-
総株主の議決権	-	78,735	-

(注) 「単元未満株式」には当社所有の自己株式43株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合 (%)
株式会社レントラックス	東京都江戸川区西葛西 5丁目2番3号	100,300	-	100,300	1.26
計	-	100,300	-	100,300	1.26

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,363,070	1,993,243
売掛金	1,113,694	825,437
商品及び製品	-	12,212
原材料及び貯蔵品	1,315	182
前払費用	68,232	29,076
その他	15,086	162,093
貸倒引当金	2,281	1,238
流動資産合計	3,559,117	3,021,006
固定資産		
有形固定資産	3,414	24,283
無形固定資産		
のれん	2,328	1,979
その他	4,159	5,942
無形固定資産合計	6,487	7,921
投資その他の資産		
投資有価証券	299,426	435,925
繰延税金資産	41,218	27,893
その他	34,404	34,326
貸倒引当金	18,859	18,409
投資その他の資産合計	356,189	479,735
固定資産合計	366,091	511,940
資産合計	3,925,209	3,532,947
負債の部		
流動負債		
買掛金	816,064	607,199
短期借入金	700,000	700,000
賞与引当金	19,220	10,650
その他	265,116	162,077
流動負債合計	1,800,400	1,479,927
負債合計	1,800,400	1,479,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,925	440,096
資本剰余金	345,925	346,096
利益剰余金	1,381,014	1,338,393
自己株式	34,768	54,749
株主資本合計	2,132,097	2,069,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	1,885
為替換算調整勘定	8,487	16,756
その他の包括利益累計額合計	8,487	18,642
新株予約権	1,198	1,826
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,124,808	2,053,020
負債純資産合計	3,925,209	3,532,947

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,689,720	6,839,081
売上原価	6,698,639	5,956,378
売上総利益	991,081	882,703
販売費及び一般管理費	611,812	784,543
営業利益	379,268	98,159
営業外収益		
受取利息	188	555
その他	2,085	1,913
営業外収益合計	2,273	2,468
営業外費用		
支払利息	983	2,390
為替差損	1,323	31
その他	1	290
営業外費用合計	2,307	2,711
経常利益	379,234	97,916
特別損失		
投資有価証券評価損	-	22,500
特別損失合計	-	22,500
税金等調整前四半期純利益	379,234	75,416
法人税等	133,317	54,917
四半期純利益	245,916	20,499
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,279	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,637	20,499

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	245,916	20,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	1,885
為替換算調整勘定	308	8,269
その他の包括利益合計	308	10,154
四半期包括利益	245,608	10,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,329	10,344
非支配株主に係る四半期包括利益	1,279	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	7,231千円	3,367千円
のれんの償却額	17,902	349

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,821	7	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	63,157	8	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,687,679	939,063	7,626,742	62,977	7,689,720
計	6,687,679	939,063	7,626,742	62,977	7,689,720
セグメント利益	854,755	79,358	934,114	56,967	991,081

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,400,644	324,347	6,724,992	114,088	6,839,081
計	6,400,644	324,347	6,724,992	114,088	6,839,081
セグメント利益	752,991	35,531	788,522	94,180	882,703

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	31.01円	2.60円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	244,637	20,499
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	244,637	20,499
普通株式の期中平均株式数(株)	7,888,726	7,896,384
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	30.91円	2.60円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加額(株)	27,015	1,862
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	第10回新株予約権 (新株予約権の数400個(普通株式40,000株))	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月12日

株式会社レントラックス
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 憲一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 篠塚 伸一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社レントラックスの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社レントラックス及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。